

「エコ安全ドライブ」とは？

「エコ安全ドライブ」とは、下記の5つのポイントを実践することで、**環境にやさしく**、さらに**交通事故も減らす**効果がある活動です。



あいおい損保では、「エコ安全ドライブ」を通じ、取り組み期間中、自動車事故“0”を目指す活動を推進しています。

エコ安全ドライブ5か条

- POINT 1 ふんわりアクセル「eスタート」**—やさしい発進を心がけましょう。
 環境面の効果:普通の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20kmが目安)だけで11%程度燃費が改善します。
 安全面の効果:やさしいアクセル操作は、加減速も緩やかで時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。
- POINT 2 早めのアクセルオフ**—エンジブレーキを積極的に使いましょう。
 環境面の効果:エンジブレーキを使うと、燃料の供給が停止される(燃料カット)ので、2%程度燃費が改善します。
 安全面の効果:早めにアクセルをオフにすると、速度の低下も早まるので時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。
- POINT 3 加減速の少ない運転**
 —交通状況に応じた安全な速度変化の少ない運転に努めましょう。
 環境面の効果:加減速の機会が多くなると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。
 安全面の効果:交通状況に応じた速度変化の少ない運転は、無理な追越し等も少なくなるので、安全運転にもつながります。
- POINT 4 車間距離は余裕をもとう**—車間距離は余裕をもって運転しましょう。
 環境面の効果:車間距離を詰めたり、速度にむらのある走りをする、加減速の機会も多くなり、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。
 安全面の効果:車間距離に余裕をもつことで、追突事故などの危険性が減ります。
- POINT 5 タイヤの空気圧をこまめにチェック**
 —タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。
 環境面の効果:タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。
 安全面の効果:安全運転のためにも定期的な点検は必要です。また、整備不良を原因とした交通事故を未然に防ぐことができます。

企業から見た「エコ安全ドライブ」の活動の効果

「エコ安全ドライブ」に取り組むことで、企業にとってさまざまな効果をもたらします。



※「エコ安全ドライブ」は、社日本損害保険協会が地球環境保全と交通事故防止を目的として取り組んでいる活動です。

□取り組みの効果の一例 [運送業者を対象とした調査(会社数20社・車両総数1650台)]

平均燃費(1ℓあたり走行距離)	7.89% 向上	一社あたり年間平均事故件数	49.6% 減少
3.8km/ℓ → 4.1km/ℓ		12.4件/年 → 6.25件/年	

出典: (株)アシア 物流システムコンサルティング事業部資料より

「エコ安全ドライブ」に取り組んで無事故を達成するために…

- 「ECOチャレンジ目標」を独自に設定し、カレンダー付きポスターに記入しましょう。
- 「エコ安全ドライブ」研修を計画し、実施しましょう。
※あいおい損保では社内研修用DVDをご用意しております。
- 目標達成に向けて意思統一を図りましょう。
- 「エコ安全ドライブ」を実施しましょう。
- 「ECOチャレンジ目標」は1ヵ月単位で達成状況をチェック、「無事故推進目標」は毎日事故の有無をシールでチェックしましょう。

さあ、全社で「エコ安全ドライブ」にチャレンジしましょう!